

生活支援体制整備事業(地域の支え合いの体制づくりの推進)

第2回校区別福祉委員会を開催

この委員会は、区長、民生児童委員、福祉推進委員等で構成しており、地域の高齢者等を支援するための関係者間のネットワークづくりと情報共有・連携の場づくりを目的としています。

地域での困りごとを把握・共有し、住民・関係団体・行政等と一緒に考え、アイデアを出し、住みやすいまちづくりの実現に向けた話し合いを進めていきます。

第1回目続いて、防災を切り口に地域について考えるため、「アンケートから地域の実情を知ろう(防災編)～自分のできることはなにか!～」をテーマに朝日大学 保健医療学部看護学科 中村廣隆氏を講師に講演およびグループワークを行いました。

実際にやっていること、今までやっていたことなども含め、「地域でこんな取組みができるといいな」というそれぞれの思いや考えについて意見をグループで出し合い、全体で情報共有を行いました。



ちょびっとサポーター養成講座を開催!

12月3日(火)・9日(月)の2日間、「ちょびっとサポーター養成講座」を開催し、4名の方が受講しました。生活支援活動についてや、認知症の理解、障がいの基本的理解など講義や実技(体験)を交えながら学びました。希望者はサポーター登録を行い、今後地域で活躍していただけることを期待しています。

ちょびっとサポーターとは

高齢者等の方の“日常でのちょっとした困りごと”を地域住民でサポートする事業。活動内容は掃除や買い物、薬の受取りなどを行います。



▲ 認知症の理解について講義



▲ 障がいの特性についての体験